



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第569号

2022年10月24日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

緑が丘地区に新設の小学校が実現

10月18日市と教育委員会は、日本共産党八千代市議団への説明で、緑が丘地区に令和8年4月の開校を目指し、新設の小学校を建てることを明らかにしました。

これは、「西八千代地区小中学校等対策検討委員会」の報告書に基づいたもので、現段階では、地権者の協力が見込める旧遊技施設跡地（パチンコサンシャイン跡地）に校舎を建設し、新設の小学校として設置するほか、新木戸小学校と一体的な運営も含めた検討をすることになっています。



そもそも中学校がない緑が丘地区

緑が丘西地区は、土地区画整理事業による街づくりで、人口1万4千人、小学校2校、中学校1校を設置する計画でした。しかし、4月末現在で地区人口が1万640人に達しているのにも関わらず、中学校はなく、小学校も1校のみです。

緑が丘西地区の中学生は、地域を分断する形で通学区域が分けられ、遠く離れた高津中学校と睦中学校へ通っている実態もあり、地域からは「緑が丘西地区に中学校を設置して欲しい」という切実な声が届いています。

日本共産党は、中学校の設置について、議会で何度も訴え続けています。しかし、今回の報告書では、「引き続き検討する」というもので、解決に至っていません。

小学校が足りないために子どもたちが犠牲に

緑が丘西地区に建設中の大型集合住宅は、今年4月に販売開始するタイミングで、小学校の教室数が足りないという理由で、遠く離れた西高津小学校へと通学区域を変更されてしまいました。

子どもたちを犠牲にして通学区域の見直し・変更で済ませることは許せません。日本共産党は議会で、教育委員会による緑が丘西地区の想定人口が、1万5千人と計画を上回っていることを指摘し、小学校の増設で対応すべきと求めました。

市民の声とともに市政を動かします！

今回の決定は、保護者のみなさんをはじめ住民の切実な願いが市政を動かしたものであり、「市政の主人公は市民」であることが示されたものです。

日本共産党八千代市議団は引き続き、市民の声を代弁し、もっと暮らしやすい八千代市にするために頑張ります。